

プレスリリース

2026 年 9 月

吉井源太と土佐の紙すき

2026 年 9 月 19 日（土）～ 11 月 29 日（日）

土佐和紙から近代和紙へ——和紙の発展と近代化に尽力した 吉井源太

吉井源太（1826–1908）は、現在の高知県のいの町の御用紙漉きの家に生まれました。源太が生きた幕末から明治時代は、製紙の世界も、伝統的な手すきの「和紙」から西洋式の機械によって大量生産される「洋紙」へと移り変わる、大きな変革の時代でした。

源太の最初の大きな功績は、万延元年（1860 年）に「土佐の大桁」を完成させたことです。この用具によって、従来の 2～3 倍の紙を生産できるようになり、増え続ける紙の需要に応える道を開きました。また、用具の改良だけでなく、新しい紙の開発にも取り組みます。以前からあった雁皮紙に複写という新しい用途が発見されて命名されたコピー紙、図写紙や書翰用紙などの薄葉紙類、防火紙など、28 種に及ぶ紙を開発しました。これらは内国勸業博覧会や海外の博覧会などにも出品され、数々の賞を受賞しています。中でも、もとは美濃にあったものを土佐で改良した典具帖紙は、より薄く、強い紙として知られ、タイプライター用の複写紙などとして欧米へ盛んに輸出されるようになりました。源太は販路の拡大にも力を注ぎ、土佐和紙発展の礎を築きました。

さらに、和紙づくりの基礎となる楮や三桠などの原料栽培にも力を入れ、土佐は紙だけでなく、その原料の一大産地へと発展していきます。これらの功績から、吉井源太は「土佐紙業界の恩人」と称されています。

源太の活動は土佐にとどまらず、東京・大阪・京都をはじめ各地で技術伝習を行い、日本全体の製紙技術の改良や増産にも尽力しました。晩年には、その集大成として、和紙生産の技術を体系的にまとめた『日本製紙論』を著しています。源太はその生涯を通じて、和紙の近代化と発展に力を尽くしました。

本展では、生誕 200 年を記念し、吉井源太の功績と、その活動によって発展した土佐の製紙業について紹介します。

展示概要

1. 名 称 企画展「吉井源太と土佐の紙すき」
2. 会 期 2026 年 9 月 19 日（土）～11 月 29 日（日）

3. 開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
4. 休館日 月曜日 [祝日は開館]、9/24 (木)、10/13 (火)、10/14 (水)、11/4 (水)、11/24 (火)、11/25 (水)
5. 会 場 公益財団法人 紙の博物館 4階企画展示室
〒114-0002 東京都北区王子 1-1-3 (飛鳥山公園内)
TEL: 03(3916)2320 FAX: 03(5907)7511 URL: <https://papermuseum.jp/>
- 
6. 入館料 一般 400 円／小中高 200 円
* 身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額
7. 交 通 JR 京浜東北線 王子駅南口下車 徒歩 5 分
東京メトロ南北線 西ヶ原駅下車 徒歩 7 分
東京さくらトラム（都電荒川線） 飛鳥山停留場下車 徒歩 3 分
都バス 飛鳥山停留所下車 徒歩 4 分
8. お問い合わせ 公益財団法人 紙の博物館 学芸部 小嶋（展示）・平野（広報）
TEL: 03-3916-2320 FAX: 03-5907-7511 E-mail: gakugei@papermuseum.jp

会期中のイベント ■事前申込制

■ 浮世絵手摺り実演会「摺師の技を生解説」

葛飾北斎「冨嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の摺りの工程を、最初から完成まで解説付きで通しで実演します。

日時：10月12日（月・祝） 13:30～15:00

会場：1階 イベントホール

講師：合同会社 沼辺木版（摺師：沼辺伸吉、摺師：沼辺広伸）

対象：一般

定員：座席 30 席は要申込、立ち見（会場内出入自由）は申込不要

費用：無料（入館料別）

申込：Web にて 9 月 28 日（月）締切

■ 講演会「吉井源太の功績 ―東京での活動を中心に―」

吉井源太研究家の村上弥生氏が、内国勧業博覧会への出品や審査員としての活動、販路の拡大など、吉井源太の東京での活動に焦点を当て、その足跡と功績を紐解きます。

日時：11月3日（火・祝） 14:00～15:30

会場：1階 イベントホール

講師：村上弥生（吉井源太研究家）

対象：一般

定員：30 名

費用：無料（入館料別）

申込：Web にて 10 月 20 日（火）締切

備考：かみはく友の会優先枠あり

□ 手すき和紙実演会

2014 年にユネスコ無形文化遺産に登録された「細川紙」の伝統を継承する埼玉伝統工芸士による実演を行います。

日時：11 月 23 日（月・祝） 13：30～15：00

会場：1 階 イベントホール

講師：谷野裕子（手漉き和紙たにの）

対象：一般

定員：なし（開催時間内の会場の出入りは自由。申込不要）

□ 紙すき教室

牛乳パックを再生した原料から「はがき」または「しおり」をつくります。

日時：毎週土曜・日曜、9 月 21 日（月・祝） 13：00～14：00

会場：1 階 イベントホール

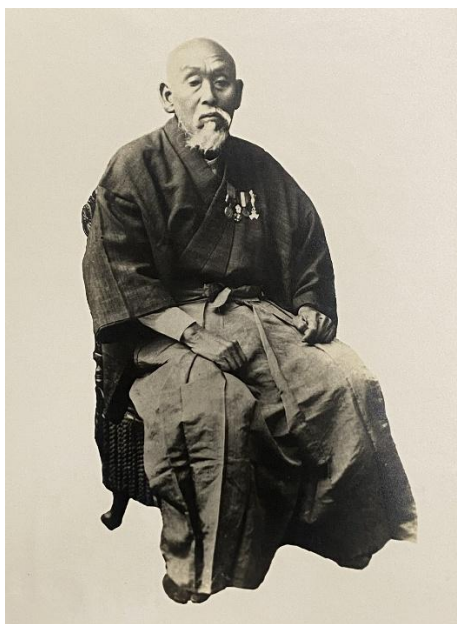
事前申込不要（当日 12：50～13：55 に整理券を配布）

イベント詳細はホームページをご覧ください。

<https://papermuseum.jp/ja/event/>



広報用画像



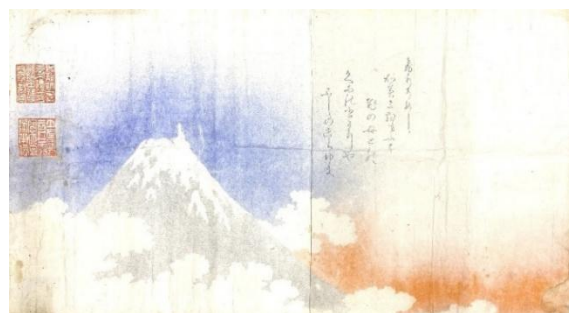
1. 吉井源太肖像



2. 土佐七色紙（御用紙）



3. 土佐の大桁



4. 富士山漉き入れ額面紙



5. 『日本製紙論』第5図 漉造



6. 土佐産紙標本（見本帳）と土佐紙の広告

FAX 番号 03-5907-7511 E-mail : gakupei@papermuseum.jp

紙の博物館「吉井源太と土佐の紙すき」担当宛

紙の博物館企画展「吉井源太と土佐の紙すき」広報用画像貸出申込書

本企画展プレスリリースに掲載している画像6点を、広報素材としてご提供します。

ご希望の画像番号にチェック・必要事項（太枠内）をご記入の上、FAX かメールでお申込ください。

* 画像は企画展の広報用としての使用に限ります。会期終了後の利用、また二次利用はお断りします。

* 提供した画像は、必ずご利用後速やかに消去してください* 基本情報の確認のため、校正を担当者までご送付ください。

* 掲載紙・誌等は、担当者までご送付ください。

申込日： 年 月 日

印欄	画像番号	キャプション・クレジット
☐	1	吉井源太肖像
☐	2	土佐七色紙（御用紙）
☐	3	土佐の大桁
☐	4	富士山漉き入れ額面紙
☐	5	『日本製紙論』第5図 漉造
☐	6	土佐産紙標本（見本帳）と土佐紙の広告

(フリガナ) 会社／所属：		(フリガナ) 担当者名：
住所：〒		
TEL：	FAX：	Email：
媒体名：		コーナー名：
媒体種別： ☐ テレビ ☐ 新聞 ☐ フリーペーパー ☐ ウェブサイト ☐ その他（ ）		
発行／放送予定日（号）：		
貸出希望日：	月 日	時頃まで 備考：

(事務欄)	学芸部担当者	／	確認	・	・	・
画像送付	／	校正	／	／	掲載確認	／
					納品	／